

JOMF 派遣医師便り (2015. 2)

◆ジャカルタ◆

市販薬

JJC 医療相談室

原 稔

インドネシアでは様々な薬が一般の薬局にて購入できます。処方箋は要りません。抗生物質をはじめ、高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症などの慢性疾患治療薬も普通に売っています。

最近、自分が住むアパートの地下にも薬局ができました。モールの中でよく見かけるチェーン店です。置いてある薬の一部を挙げます。右に日本での名前と薬価（2年前のもの）を記します。

抗生物質

Fixiphar (100) Rp. 22450- セフspan (100) ¥71. 1-

Levocin (500) Rp. 45600- クラビット (500) ¥475. 3-

降圧薬

Norvask (5) Rp. 8900- ノルバスク (5) ¥58. 8-

Blipress (8) Rp. 14900- ブロプレス (8) ¥140. 4-

糖尿病薬

Amaryl (1) Rp. 3550- アマリール (1) ¥19. 2-

Januvia (50) Rp. 15900- ジャヌビア (50) ¥166-

ルピアと円は、大まかに 100 ルピアが 1 円くらいの換算です。上記の薬の値段を見ますと、抗生物質のセフspanを除いて、日本の薬価と比較して相応の値段と言えるのではないのでしょうか。

医療機関で同様の薬を処方されると、これよりもいくらか高くなります。したがって、保険を使うことができない場合は、市中の薬局での購入をお勧めすることもあります。

このとき、この薬局の会員になると 5%割引になる点は、インドネシアらしいところです。